

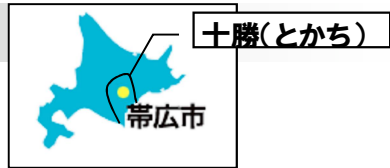


# 北海道帯広市

北海道帯広市東8条南13丁目1  
 担当課: 保健福祉部健康推進課  
 〒080-0808  
 ☎0155-25-9721 FAX0155-25-7445  
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

## 本市のデータ

- (1) 面積 618.94km<sup>2</sup> (東京23区とほぼ同じ)
- (2) 位置 北海道東部の十勝[とがち]地方のほぼ中央
- (3) 人口 168,546人 (平成23年8月末日現在)
  - 男 80,825人
  - 女 87,721人
  - 世帯数 82,113世帯
- (4) 食料自給率 十勝は約1,100%  
 (日本40%、北海道195%、オランダ78%、アメリカ120%、オーストラリア172%)



## 本市の概要

帯広市は、都市と農村、自然環境が調和した「田園都市」づくりをすすめています。  
 また、農業を主要産業とする十勝地方(約35万人、1市16町2村)の中心地であり、農産物集積地、商業都市としての役割を担っています。

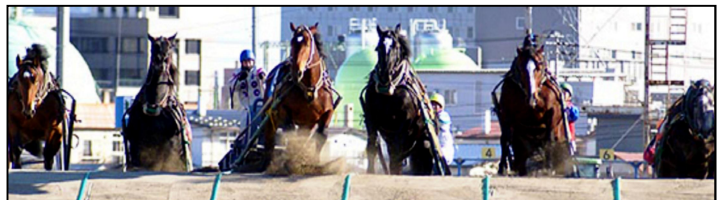
### □「フードバレーとがち」

帯広・十勝は、わが国有数の食料生産基地として、大規模な農業が営まれています。農業に関連する大学、試験研究機関、企業が多く集積し、先進的な研究が進められており、農畜産物や加工品は、安全で良質な十勝ブランドとして、消費者に広く受け入れられています。帯広市では、「食と農業」を柱とした地域産業政策の考え方を「フードバレーとがち」と総称し、まちづくりの旗印として十勝全域とスクラムを組んで進めています。



### □「世界で唯一のばんえい競馬」

体重1トンを超える馬が重りをのせた鉄ソリを引いて直線コースで力とスピードを競う、世界でたったひとつのばんえい競馬。



### □「明治北海道十勝オーバル」

北海道で初めての屋内スピードスケート場。世界選手権などの世界大会も行われています。



### □「愛の国から幸福へ」愛国駅・幸福駅

愛国駅と幸福駅は「恋人の聖地」に平成20年7月、選定されました。



## 支援に向けての取り組み状況

### <対策の方針・目標>

帯広市の自殺者数は、平成10年から毎年50名前後であり、死因の第5位を占めています。平成21年の自殺者は44人と交通事故死者8人の5倍強となっています。帯広市の自殺者を年齢・性別でみると、40歳～59歳の男性が多く、原因や動機は、健康問題、経済・生活問題が多い状況です。自殺の現状や正しい知識を得ることで、自殺が個人のみではなく、社会的問題であるという認識を深め、市民1人ひとりが自殺を考えている人の存在に気づき、専門家につなぎ、見守ることができるようになることを目指しています。

## <具体的な取組み>

平成20年度までは、健康相談、心理相談員による相談、精神科医師相談、リラクゼーション室開放などで心の健康づくりについての対策を実施していましたが、平成21年度からは、北海道の「北海道地域自殺対策緊急強化推進事業」の補助を受け、「自殺予防」に焦点を当てた対策を開始しています。

### 【自殺予防周知啓発】

<平成21年度>

○自殺予防リーフレットを作成し全戸配布 78,000部

※帯広商工会議所の協力により事業所に同リーフレット配布

<平成22年度>

○講演会 講師 NPO法人ライフリンク代表 清水 康之 氏 一般市民、関係者対象。

○広報おびひろ特集ページ

○パネル展 おびひろ健康まつり等 計2回実施。

○自殺予防対策研修会(庁内)

講師 NPO法人 ライフリンク代表 清水 康之 氏 帯広市職員対象。

<平成23年度>

○講演会 講師 NPO法人「こころに響く文集・編集局」代表理事 茂 幸雄氏

一般市民、関係者対象。

○街頭啓発 歩行者天国等 計3回実施

ブース設置、のぼり掲示、相談窓口記載ティッシュなどの配布など

○広報おびひろ特集ページ

○パネル展 帯広市図書館等 計2回実施

### 【自殺予防人材養成】

<平成23年度>

○担当職員の研修会参加 「自殺対策」「認知行動療法」

○自殺対策に係る多分野合同研修会 情報共有と連携をテーマに研修

### 【心の健康づくり対策】

<平成21年度>

○心理相談員による相談 7名 精神科医師相談 3名

○メンタルヘルス講座 年2回 43名参加

○「こころの健康」出前講座 年7回 333名参加

○リラクゼーション室 157回開室 757名利用

<平成22年度>

○心理相談員による相談 7名 精神科医師相談 1名

○メンタルヘルス講座 年2回 30名参加

○「こころの健康」出前講座 年5回 219名参加

○リラクゼーション室 157回開室 872名利用